

# 闘春

## 2010年元旦



NO. 679  
 発行  
 10・1月1日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 関川 和彦  
 編集責任者  
 教宣部

明けましておめでとうございます。

昨年、JR不採用事件の早期解決を求める闘いをはじめ、職場の労働条件の改善、安全・安定輸送を確立する闘い等々、ご奮闘をいただいた組合員の皆様にご感謝申し上げます。

今年はJR不採用となった1047名が国鉄清算事業団から二度目の解雇をされて20年の節目を迎えますが、同時に緊迫した政局の中でJR不採用問題の政治的・全体的解決へと押し上げる大きな正念場を迎えます。

先の「4者4団体」主催による『11・26集会』では、民主・社民・国民新党の政権与党をはじめ公明党、共産党各党代表から「24年を超えさせないで解決に全力を尽くす」との力強い挨拶がありました。また、12月6日、新潟市内で開かれた恒例の『年末集会』は函館闘争団、音威子府闘争団、全動労争議団が駆けつけ、悪天候の中、185名の結集を得て成功し、「『2・16集会』を解決報告集会にしよう!」の決意を確認しあいました。全組合員の団結と集中で解決の高みに押し上げようではありませんか。

昨年、12月21日、山形県警は、05年12月25日発生した羽越線脱線・転覆事故で、運行管理責任者であった当事の運輸部輸送課の指令室長ら3人を業務上過失致死傷容疑で山形地検に書類送検しました。

県警は、事故当時、現場付近に暴風雪警報が出ていたことなど重視。輸送指令をしていたJR東日本新潟支店の運行管理責任者は異常気象だったとの認識があり事故を予見して回避できたにもかかわらず、運転規制をするなど注意義務を怠った疑いがあるとしています。

この事故については国土交通省航空・鉄道事故調査委員会（現・運輸安全委員会）が08年4月に「原因は瞬間風速40メートルほどの局地的な突風で、運転方法に問題はなかった」と結論づける調査報告書を公表。事故現場から約800メートルの場所にある風速計では事故前の風は最大でも12メートル程度で、突風のメカニズムが解明されていない現状では、突風の予測は難しいとの見解を示していました。

また、JR西日本の福知山線事故では、会社幹部が4人の事故調委員と接触した『報告漏洩事件』が発覚し、世間の輿論との怒りを買いました。

遺族らでつくる「4・25ネットワーク」は12月18日、JR西日本と合同で、事故の背景となった同社の組織上の問題を探る「真相と課題検討会（仮称）」を発足させると発表。11年3月をめどに報告書をまとめるとしています。大規模な鉄道事故や航空事故をめくり、被害者と加害企業が一緒に事故原因を考えるケースは例がありません。

問われているのは真相の解明と企業の社会的責任です。事故を隠滅することではなく、解明を。営利優先に走るのではなく、安全を最優先にした企業風土を確立すること。このことが、JR東にも西にも求められているのではないのでしょうか？

今、我々の置かれている職場労働条件はどうなっているのだろうか？

相次ぐ効率化、外注化で労働条件は押し下げられ、安全が軽視されていないだろうか？安全最優先の企業風土を確立するためにはコストダウンをもつばらの目的とした安易な外注化施策を見直さなければなりません。にもかかわらず、新たな検修外注化施策である「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」を提案するのは、それ自体、批判されるべきです。

60歳以降も新たな再雇用先で働く組合員は、今後ますます増えていきます。出向先での労働条件の改善と施策そのものの見直しは、旅客・貨物を問わず重要課題となっていることを踏まえ、改善を目指して取り組みを強めます。

昨年の第62回定期地方大会で確認されたとおり、今年は新津地区に新事務所を建設します。支部統合とあわせ、新たな体制でスタートすることとなりました。この間の真摯な議論に感謝申し上げます。地方本部一同、新たな気持ちで奮闘いたします。

最後に、今年一年、組合員の皆様のご健康とご活躍を願い、新年のご挨拶とします。



# いなほ脱線から4年 駅前宣伝行動を展開



12月25日  
新潟駅前

十二月二十五日、十七時より新潟駅前で宣伝行動を展開しました。羽越本線・いなほ14号が北余目駅へ砂越駅間で脱線・転覆して今年で四年目をむかえます。五名の方が亡くなり三十三名が重軽傷しました。国労新潟地本ではこの日を安全行動日として毎年、十二月二十五日に駅前で宣伝行動展開し安全・安定輸送を訴えてきています。当日は寒い中、三〇分の宣伝行動でしたが、約二〇〇枚のチラシを配布しました。



# 地本機関紙 講座のお知らせ

地本で、機関紙講座を計画しました。日程は2月20日(土)～21日(日)です。春闘に向けて機関紙の発行を職場・支部で発行できる体制をつくっていききたいと思います。

最近、パソコンでの編集が主流になりました。具体的な内容は、まだ決定していませんが、基本的な編集方法と、パソコンでの編集を考えています。各教宣担当を対象にし、機関紙編集に興味のある組合員の参加をお願いします。

今回は、ひとりでも、ふたりでも、参加が少数でも開催します。ひとりでも多く、機関紙を発行できる状況をつくり上げていきたくと決意しています。

よろしくをお願いします。

具体的な、内容・企画については、後日お知らせします。

2月20日(土)～21日(日)  
開催します

# 編集後記

訂正とお詫び、  
国鉄新潟678号ですが、発行月が六月になっていました。国鉄闘争の年末集会の内容の記事でした。大事な時期に大きな間違いをしました。ご迷惑をおかけしました。今後いつそう、更正について注意し編集作業をいたします。

